

県議会における主な意見等について

【大綱全般】

- 教育大綱案に「おかやま」らしさが感じられないとの意見がある。知事の教育への強い思いをもっと前面に出すべきだ。
- 6月7日に開催された「山田方谷シンポジウム」で、下村文部科学大臣が、岡山には山田方谷という偉人がいるので、こういった人をもっと岡山の教育の場で活用できないかという話があったが、活用できないか。
- 教育に関しては生き活きプランと教育振興基本計画がある。加えて大綱を策定するが、知事部局が関わるねらいなど、大綱の策定目的を明確にすべきではないか。

【第3 基本目標】

- 大綱の内容は教育基本法を踏まえたものにすべきだが、郷土愛などはきちんと組み込まれているが、人格の完成という言葉が入っていない。
- 知事部局が関わるのであれば、地域に貢献ができる人材が残っていくようなものが教育目標でなければならない。

【第5 基本方針】

- 基本方針の「家庭・地域の教育力の向上」「規範意識と思いやりの心、健やかな体の育成」は人間形成の基礎・規範となるもので大変重要だ。この基本方針の前文はすばらしい内容だが、単純明快で、覚えやすく、口ずさめる、キャッチフレーズのような表現にできないか。
- 教育の肝心な部分であり、子どもの心の栄養分である教科書の採択は記述しないのか。
- 就学前教育について、保健福祉部等と連携を図りながら、今後重点的に取り組むポイントを大綱に盛り込むべきだ。
- コミュニティ・スクールについて、大綱にも特徴付けて盛り込む必要がある。
- 選挙権年齢を18歳に引き下げる改正公職選挙法の成立を受け、18歳、19歳に政治への関心を持ってもらう努力とともに、20歳以上の大人にも政治への関心を高めてもらう契機となる方策も必要だ。